

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 : 濃縮蛍光磁粉液 NEO MAGNALITE FY-500C  
会社名 : 電子磁気工業株式会社  
住所 : 東京都北区浮間5丁目6番20号  
担当部門 : 開発部  
電話番号 : 03-5970-8681 F A X : 03-5970-8680  
緊急連絡先 : 担当部門に同じ  
作成日 : 2014年4月22日 改訂日 : 2024年12月1日  
整理番号 : SDS15120-24  
製品コード : 15120  
推奨用途及び使用上の制限 : 磁粉探傷試験(水仕様)

## 2. 危険有害性の分類

### GHS 分類

物理化学的危険性 —  
健康に対する有害性 皮膚腐食性・刺激性 区分2  
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2  
皮膚感作性 区分1  
環境に対する有害性 —

### GHS ラベル要素

#### 絵表示



注意喚起語 警告  
危険有害性情報 皮膚刺激  
強い眼刺激  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

#### 注意書き

【安全対策】 取り扱い後はよく手を洗うこと。眼には触らないこと。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。  
粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入しないこと。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

- 【応急措置】 皮膚についた場合、多量の水で洗うこと  
皮膚刺激または発疹が生じた場合には、医療処置を受けること。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合、医療処置を受けること。
- 【保管】 施錠して保管のこと。
- 【廃棄】 内容物、容器を国または都道府県の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区分：混合物

成分名	含有量	官報整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
酸化鉄粉	5～15%	(1)-357・192号	1309-38-2
蛍光顔料	1～10%	登録済み	登録済み
合成樹脂	1～5%	登録済み	登録済み
無機体質顔料（酸化チタン）	0.1～1%	(1)-558・191号	13463-67-7
界面活性剤	5～10%	登録済み	登録済み
消泡剤	1～5%	登録済み	登録済み
防錆剤 (トリエタールアミンとして)	10～20% (5%未満)	登録済み (2)-308・381号	登録済み (102-71-6)
水	50～70%	-	-

GHS 分類に寄与する不純物及び安定化添加物： なし

### 4. 応急措置

- 目に入った場合： 速やかに瞼を開け清水で数分間注意深く洗眼し、眼科医の診断を受ける。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 皮膚に付着した場合： 多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。
- 吸入した場合： 直ちに空気の新鮮な場所へ移動させ、安静、保温に努め、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 口に入った場合： 口をすすぐ。安静にし、速やかに医療処置を受ける手配をする。
- 飲み込んだ場合： 直ちに医師に連絡すること。誤って少量飲み込んだ場合口をすすぐ。安静にし、無理に吐かせないようにする。

---

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 小火災は粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂  
大火災は散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 火源へ直接の棒状注水
- 消火方法 : 本品自体は不燃性ではあるが、火災にさらされた時には、大量の水で消火する。周辺火災の場合は容器を安全な場所に移動する。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。
- 特有な消火方法 : 危険でなければ、火災区域から容器を移動する。延焼を防ぐ為安全を確認の上、周囲の可燃物を除去する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用防護服を着用すること  
火災規模に応じて、危険を伴う場合は、速やかに退避する。
- 特有の危険有害性 : 火災によって有毒ガスなどの発生、酸欠の恐れがあるため、適切な保護具を使用する。
- 

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 関係者以外の立入を禁止する。
- 保護具及び緊急時措置 作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への吸入を避ける。  
風上から作業する。
- 環境に対する注意事項 環境中に放出してはならない。  
河川等に排出され、環境へ影響をおこさないよう注意する。
- 封込及び浄化方法・機材 漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。  
湿らせてもよい場合は、粉塵の発生を防ぐために湿らせてから漏洩物を掃き集める。
- 

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

### 【取り扱い】

- 技術的対策 (8. ばく露防止及び保護措置)  
に記載の設備対策を行い、保護具を使用する。
- 局所排気・全体換気 (8. ばく露防止及び保護措置)  
に記載の局所排気、全体換気を行う。  
安全取扱注意事項眼に入れないこと。  
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。  
接触、吸入又は飲み込まないこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
取扱後は、手を良く洗うこと。

接触回避 (10. 安定性及び反応性) を参照

### 【保管】

技術的対策

保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。  
保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ適切な貯めますを設けること。吸い込んだり、眼、皮膚等に触れたりしないように適切な保護具を着用する。容器は密閉する。また、漏れ、溢れ、飛散しないようにする。換気のよい場所で取り扱う。

保管条件

漏洩の防止。屋内貯蔵とし、換気良好な冷暗所に貯蔵する。  
直射日光を避け、高温物を近づけない。  
密閉して、空気との接触を避ける。  
可燃物と同一個所に置かないこと。  
関連法規にもとづく規制及び条件で保管する。  
周囲への流出、拡散による汚染に注意する。

混触危険物質

(10. 安定性及び反応性) を参照

容器包装材料

消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

成分名	管理濃度	許容濃度	ACGIH
酸化鉄粉	3.0 mg/m <sup>3</sup>	4 mg/m <sup>3</sup> (総粉塵として)	5 mg/m <sup>3</sup> (TLV-TWA)
蛍光顔料	データなし	データなし	0.37mg/m <sup>3</sup> (TLV-C)
合成樹脂	データなし	8 mg/m <sup>3</sup> (総粉塵として)	10 mg/m <sup>3</sup> (TLV-TWA)
無機体質顔料	設定なし	4 mg/m <sup>3</sup> (総粉塵として)	10 mg/m <sup>3</sup> (TLV-TWA)
トリエタノールアミン	設定なし	記載なし	5mg/m <sup>3</sup> (TWA)

設備対策 : 屋内作業場のうち、通風が不十分な場所では発生源を密閉する設備、局所排気装置の設置、または全体換気装置の設置が必要。

安全対策 : 必要に応じて保護具を着用する。

保護具 : 適切な空気呼吸器等を使用する。(防塵マスク)  
適切な保護眼鏡の着用。  
適切な保護手袋 (ゴム手袋等)。  
長靴、前掛けの着用、適切な保護着の着用。

衛生対策 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと、取扱後は手を良く洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
形状	粘稠液
色	緑黄色
臭い	わずかに臭いあり
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
引火点	該当なし（製品として）
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水に可溶、アルコールに微溶
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	1.14g/cm <sup>3</sup>
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性、科学的安定性	通常取扱、保管においては安定である。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	（7. 取り扱い及び保管上の注意）参照
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

## 11. 有害性情報

急性毒性  
データなし。

皮膚腐食性／皮膚刺激性  
区分 2 に該当する成分を 10%以上含有するため区分 2 とした。

目に対する重篤な損傷／目刺激性

区分 2 に該当する成分を 10%以上含有するため区分 2 とした。

呼吸器感作性

データなし。

皮膚感作性

区分 1 に該当する成分を 1%以上含有するため区分 1 とした。

生殖細胞変異原性

データなし。

発ガン性

データなし。

生殖毒性

データなし。

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）

データなし。

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）

データなし。

誤えん有害性

データなし

---

## 12. 環境影響情報

生体毒性

データなし

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

データなし

### 13. 廃棄上の注意

処理方法	水質汚濁防止法等の関連法規に適合した処置を施してから廃棄する。または、処理能力のある公認された産業廃棄物処理業者に委託する。容器、機器装置等を洗浄した廃水等は、地面や排水口に流さず、活性汚泥等の処理により、清浄にしてから排出を行うか、委託すること。
残余廃棄物	廃棄においては関係法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方自治体で処理を行っている場合はそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	容器は洗浄してリサイクルするか、関係法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処理を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

### 14. 輸送上の注意

#### 国内規制（適用法令）

陸上規制	: 特段の規制なし。
海上規制	: 特段の規制なし。
航空規制	: 特段の規制なし。
国連番号	: 非該当
国連分類	: 非該当、国連の分類上、危険物に該当しない。
海洋汚染物質	: 非該当
特別の安全対策	: 取り扱い及び保管上の注意事項による他、運搬に際しては、容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 雨水、直射日光を避け、通風の良いところに積載する。 火気、熱源より遠ざけて積載する。 重量物を上積みしない。 関連法規に基づく規制及び条件で輸送する

### 15. 適用法令

消防法	: 非危険物
労働安全衛生法	: 表示対象物質（安衛法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9） 酸化チタン（IV）（政令番号 第 191 号） 酸化鉄（政令番号 第 192 号） トリエタノールアミン（政令番号 第 381 号） 通知対象物質（安衛法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9） 酸化チタン（IV）（政令番号 第 191 号） 酸化鉄（政令番号 第 192 号） トリエタノールアミン（政令番号 第 381 号）
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
PRTR 法	: 該当しない
特化則	: 該当しない
有機則	: 該当しない
危険物船舶運送	: 対象外
貯蔵規則	: 対象外
大気汚染防止法	: 特定できず
水質汚染防止法	: 特定できず
廃掃法	: 産業廃棄物

---

## 16. その他の情報

参考文献：製品安全データシートの作成指針（社）日本化学工業協会  
日本検査機材株式会社社内資料（各材料SDS）  
化学物質等安全データシート（SDS）第1部：内容及び項目の順序【JIS Z 7253】  
**原材料メーカー提供の製品安全データシートSDS**

### 免責事項

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱い事業者に提供されるものです。

記載内容は本データシートの作成時または改正時において当社が入手できた資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、情報の正確性や安全性を保証するものではありません。

すべての化学製品は未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。

また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものです。特別な取り扱いをする場合には、ご使用者各位の責任において個々の取り扱い等の適切な処置を講ずる必要がございます。新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、活用されるようお願いいたします。

本製品の安全データシートは、JIS Z 7253:2019 に従い作成したもので、この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。

---